



子どもたちに経験の“場”を

～これからお力添えください～



ふれあい

発行

青少年育成
沼袋地区委員会
昭和55年12月15日創刊

5/15 第44回定期総会
7・10・12・1・3月 全体会
9/29 子どもワイワイ広場参加
11/2 青少年育成バザー

全体の活動

地区委員会の一年

地域の皆さまに
支えられて



今年のバザーもお楽しみに！

地域の皆さまをはじめ学校やPTAの方々には、日頃より地区委員会の活動にお力添えをいただき感謝申し上げます。こうして安心して活動が続けられるのも、歴代の地区委員の方々が「どの子ども我が子と呼べる町づくり」をス

ローガンに掲げ、地域の皆さまと長い年月をかけて育んだ絆から生まれたものと思うと、感慨深いかぎりです。

そのよい例が青少年育成バザーです。毎年、品物は集まるか、お手伝いの人手は足りるか、お客様は来てくださるだろうかと心配で、いろいろな不安になります。それらを地域パワーで毎年乗り越え、売り上げが地区委員会の活動資金となり、子どもたちにたくさんの経験の場を与えることができています。

子どもはいろいろなものを見て、聞いて、感じながら全身で吸収して育ちます。私たち大人は、お手本になるように襟を正して、子どもたちの道しるべになりたいものです。私たち青少年育成沼袋地区委員会は、これからも安心安全を守りながら皆さまとともに子どもたちのために活動してまいりたいと思いますので、どうぞ引き続きご協力をお願いいたします。

(委員長 砂井静子)

育成部の活動

6月・1月 ミニ・リーダー講習会 (全8回)

募集開始が遅かったため、昨年度より少ない18名で始まった今年のミニ・リーダー講習会でしたが、みんな元気に、

どの講習も楽しんでくれたようです。

9月のカヌー講習はいつもお世話になっている緑野小学校ではなく、久しぶりに江古田小学校のプールをお借りして行いました。心配された酷暑に気をつけながら、水の上で風を切つて楽しいひとときでした。11月には、これも何年かぶりにみんなで電車に乗り、高尾山までハイキングに行きました。

そのほかにも、丸山塚公園で行ったパックドッグ作り、キャンプでのキャンドルファイヤー、公衆電話のかけ方を学んだオリエンテーリングなど、久しぶりのことがたくさんあった今年度のミニ・リーダー講習会。体験を通して少しずつ成長していく姿を、とても頼もしく感じました。

今年も安全に活動することができたのは、沼袋区民活動センターの皆さま、学校の先生方、PTAの皆さまがいつも温かく見守ってくださったおかげと感謝しております。ありがとうございました。

(部長 間瀬敬子)



パンを牛乳パックに入れて焼くから「パックドッグ」です

環境部の活動

7/10 環境実態調査
7/17 環境実態調査報告書の印刷と配布

子ども安全マップ配布

9/29 子どもワイワイ広場参加
12月・1月 新年度用子ども安全マップ製作

1月・2月 新一年生説明会で子ども安全マップ配布



「子ども安全マップ」夏休み前に配布します

長年環境部の活動に携わり、地域の子どもたちを取り巻く問題に関心を持って過ごしてきましたが、昨今は子どもたちの置かれている状況が見えにくくなっているように思います。

生活の困窮による子ども食堂の全国的な増加、ヤングケアラーと呼ばれる子どもたちの孤立、我が子への暴力、薬物の過剰摂取による依存や自傷行為…。これらは家庭だけの責任ではなく、社会の問題といわれますが、その環境に負けずに、けなげに健全な大人になっていく人がほとんどでしょう。

それに比べ、安易に闇バイトに手を出す若者、男性相手に詐欺行為をはたらく「いた

だき女子」と呼ばれる若い女性、大騒ぎをして選挙を妨害する迷惑な人々…。今まではおよそ想像もつかなかった大人たちが堂々としている風景に考えさせられます。

この人たちの転機はいつ頃で、何が原因だったのか、何に不満を感じていたのか、彼らを取り巻く環境はどうだったのかなどを知りたいと思っ

広報部の活動

5月・1月 地区委員会全体および育成部と環境部の活動取材

7/10 広報紙「ふれあい」第131号発行
12/18 広報紙「ふれあい」第132号発行
3/12 広報紙「ふれあい」第133号発行

今年度も「ふれあい」をお読みいただき、ありがとうございます。

12月の広報紙では子どもの遊び場活動（プレーパーク）を紹介しましたが、町会や子ども会単位でも「みんなのぬまぼり」や「子どもキラキラまつり」「どんど焼き」などの行事があり、どれも大勢の子どもたちでにぎわっています。広報紙でも学校の長期休み期間中に行われる行事を紙面で告知しています。

今後は、町会や子ども会の行事も取材し、子どもたちのためにご尽力くださっている地域の方々の姿を紹介する機会ももうけていきたいと考えています。

(部長 清水理香)

クラフト講習 12月15日(日)



布でボタンをくるんで、可愛いヘアゴムにしま〜す!

この講習は、1月に開催されるウィンターフェスタで参加者の子どもたちに教えられように、まずは自分たちが作り方をしっかり覚えるための講習でした。

クラフトはプラ板・貝殻・み・雪だるまブローチ・くるみボタン・ポンポン・マクラメ人形の6種類。ミニ・リーダーたちは自分がやりたいクラフトのブースへ行き、中高生のジュニア・リーダーに教わりながらワイワイ楽しく体験しました。

クラフトはどれも細かい作業工程が多く、ポンポン作りは毛糸で束を作る、マクラメ人形は紐を編み込む、雪だるまブローチは安全ピンにビーズを通すなど、それぞれ苦戦しながらも真剣にチャレンジしていました。

講習後、これでウィンターフェスタで子どもたちに教えられると、ミニ・リーダーたちは自信たっぷりの笑顔を見

ミニ・リーダー通信 せてくれました。

(阿部瑠理)

ウィンターフェスタ 1月26日(日)午前



どのクラフトも子どもたちで大盛況でした

今年度のウィンターフェスタは、地域の小学生を中心に31名の参加があり、中には保護者同伴の未就学児も何人か来ていました。

開始時刻になると、ミニ・リーダーみずから「プラ板工作、楽しいですよー!」「いらっしゃいませー!」と呼び込みをしていて、元気な声が飛び交っていました。クラフトの種類は6つで、事前に作り方の講習を受けたミニ・リーダーが参加者に丁寧に教えています。大人の方々も一緒に参加して、子どもたちと一緒に時間を過ごせたようです。

ミニ・リーダー講習会の目的は、地域の行事などで子どもたちのリーダーとして活躍する子どもを育成することです。そのためのスキルを一年間かけて学び、その集大成としてウィンターフェスタで地域の子どもたちにクラフトを

教えます。これは、ミニ・リーダーたちにとって大きな自信につながったことでしょう。これからも、ミニ・リーダーが活躍できる地域行事が増えてほしいと思いました。

(高梨麻美)

閉講式 1月26日(日)午後



みんなの前で感想を発表するのは緊張します

今年度も全8回の講習が無事に終了し、ミニ・リーダー18名のうち9名が皆勤賞という、すばらしい成果がありました。

砂井委員長の挨拶に続き、キッズ・プラザ緑野の所長や緑野小学校の校長先生からは、午前中のウィンターフェスタで参加者に作り方を優しく丁寧に教えている姿など、ミニ・リーダーの活躍がとても頼もしく、感動的だったとのこと言葉をいただきました。

修了証や皆勤賞の授与とともに、出席者には記念の写真も渡されました。席に戻ると、写真を見ながら一年間の活動を思い出してみんな楽しんでそこに盛り上がっていました。

ミニ・リーダー大募集!!

★学校ではできないことが体験できる!
★他の学校や違う学年の友だちができる!

新年度のミニ・リーダー講習会のお知らせは、学校を通じて4月ごろに配布します。大勢のお子さんの参加をお待ちしています。



(松井涼子)

ミニ・リーダーの挨拶では、初めは参加をためらっていた子が、お友だちと仲良くなるにつれて講習会に来るのが楽しみになったという声や、他校の友だちとも仲良くなれて楽しかったという感想がありました。また、知らないことも積極的に話せるようになったという子もいて、このような活動が子どもたちにとって貴重な経験になり、楽しく学びながら成長していることを実感しました。

現在、育成者として活動している人の中には、ミニ・リーダーからジュニア・リーダーを経て青年リーダーとなり、長年講習会を支えてくれている人もいます。今回のミニ・リーダー卒業生にも、今後はジュニア・リーダーとして活動が続けたいという子がいました。こうした経験が人とのつながりの大切さを学び、地域を支えていこうという気持ちを育てていることを感じました。新年度から、地域行事や子ども会などでの活躍を期待しています。

1月全体会会。

1月22日(水)

お正月から続く穏やかな晴天のこの日、年明け初めての全体会会が和やかな雰囲気です始まりしました。

まもなく新年度を迎える時期なので、学校や地域の活動報告の後には次年度のPTA役員選出の話題になりました。

すでに役員が決まっている学校もあれば、選出に苦労している学校もあり、仕事をもった保護者が大多数の現代では、PTA組織の存続の是非も問われているという話も出て、とても考えさせられました。ただ同時に、こうした話題を世代を超えて話し合える地区委員会の全体会会を行う意義も、あらためて感じました。

後半は、新年最初の全体会会における恒例の「今年の漢字」の発表と、「砂井委員長とジャンケン大会」が行われ、笑顔で会合を終えました。

(関口敦子)

編集後記

5月には各学校から新たなPTAの方々加わります。家事や育児、仕事、そして学校行事のお手伝い。そこに地区委員会での活動も加わった「大変だからやりたくない」と思うのも当然かもしれません。実際、私も小学校のPTAとしてこの地区委員

会に関わった当初はそう感じていました。ただ、今となつては、ミニ・リーダー講習会が「学校で

春休みあそびいろいろ

行事の詳細は各施設・団体にお問い合わせください。

▼キッズ・プラザ江古田
(3385-7955)

3/10(月)~15(土)

「あいうえお」展示・投票期間
子どもたちが作った個性豊かなミニチュアのお店を、地域の方もぜひご覧ください。

▼キッズ・プラザ緑野
(5345-7470)

4/1(火)午前10時~

新一年生向け施設探検ツアー
沼袋町会
(関口5380-5307)

3/22(土)午前10時~

「新入学児童を祝う会」
沼袋氷川神社
新一年生になる町会内の児童を対象にお祝いします。

▼江古田四丁目子ども共に進む会
(花田090-7287-4580)

3/22(土)午後2時~

「新入学お祝い会」
沼袋区民活動センター洋室3号

きないことを体験できる「他校や違う学年の友だちができる」場であるように、地区委員会も「家庭や職場では味わえない経験ができる」「幅広い年齢の方々と交流すること自分の視野を広げ、子育てのヒントを得る」ことができた場だったと思っています。

PTAの方々にも「地区委員会は大変なだけじゃなく、やりがいも充実感もあったし、やってみたら楽しかった」と言ってもらえるように、次の年度も頑張ります!

(清水理香)